

地域センター会議(旧地域ブロック会議)について

資料4

1

(1) 地域センター会議の経緯・目的

- 四者協とは、地域の児童に関わる問題について、四つの関係機関（民生委員・児童委員、児童相談所・学校・こども家庭センター）が情報交換等を行い、互いの理解を深め関係を強化し、児童福祉の向上を図ることを目的としている。
- 平成17年からブロック別の「地区連絡協議会・地域子ども家庭支援ネットワーク会議」（以下「ネットワーク会」という。）を開催。
- 地域連携の重要性や関係機関との関係性の構築を図り、児童虐待の防止や児童虐待の早期発見、早期対応し円滑で効果的な支援に努めることを目的に代表者会議、実務者会議、地域ブロック会議、個別ケース検討会議と4階層のネットワーク会を実施して来た。
- 地域ブロック会議を四者協の連携会議に位置付けた。
- 平成28年からは、中学校区ごとにケースの進行管理を行う中学校区分科会を新たに開催し、より地域に密着した支援体制の構築を図ってきたところである。

(2) これまでの開催内容

	第1ブロック(館)	第2ブロック(石川)	第3ブロック(みなみ野)	第4ブロック(南大沢)	第5ブロック(元八王子)
平成28年	・機関紹介(学童保育所) ・地域の連携について考える (グループワーク)	「難しい親」への理解と対応(講演)	事例検討(グループワーク)	不登校やひきこもりの子をもつ 親が抱える課題と対応(講義・ グループワーク)	難しい親の対応(講義・グループ ワーク)
平成29年	・機関紹介(子ども食堂) ・子どもたちを地域で支えるネット ワーク ～生活困窮の立場～(講演・グル ープワーク)	今求められる子ども家庭支援 ネットワークとは (講演・グループワーク)	・機関紹介(自立支援課・多摩 少年院) ・関係機関の支援と連携につ いて(事例検討)	・子ども家庭支援センターの役割と 他機関との連携について(DVD上 映) ・機関紹介(保健福祉センター) ・事例検討(グループワーク)	子ども虐待はなぜ起きるの か？ 虐待を分ける一線と虐待する 親を理解する (講演・グループワーク)
平成30年	・機関紹介(保健福祉センター) ・児童相談所の役割の今とこれ から (講演・グループワーク)	子どもたちへのかかわり (DVD視聴・グループワーク)	・機関紹介(特別支援学校・母 子生活支援施設) ・関係機関の支援と連携につ いて(事例検討)	・地域でできる見守りと支援に ついて(講演)	子ども家庭支援センターと保健 福祉センターについてそれぞれ 機関紹介 (講演・DVD視聴)
令和元年	子どもの貧困対策における スクールソーシャルワーカーの 役割について (講演)	・地域でできる見守りと支援に ついて(講演) ・こども食堂について(講演)	地域でできる見守りと支援につ いて (講演・グループワーク)	・地域連携の重要性について (講演) ・事例検討(グループワーク)	・こどもの貧困について(講演) ・機関紹介(子ども食堂)
令和2年	コロナのため中止				
令和3年	コロナのため中止				
令和4年	子ども家庭支援ネットワークの 役割(講演)	いま、地域に潜む子どもたちの 課題～不登校、発達障害、ヤ ングケアラーを知る～(講演)	子ども家庭支援ネットワークの 役割(講演)	事業紹介(少年センター・SS W・子ども家庭支援センター)	・地域でできる見守りと支援(講 演)
令和5年	不登校支援について(講演)	地域でできる見守り支援(講演)	家庭支援における地域および 各機関の役割 ～事例に基づく検討～(講演)	・ヤングケアラーについて(講 演) ・事例紹介	・家庭支援における地域および 各機関の役割 ～事例に基づく検討～(講演)

(3) あり方検討会

- こども家庭センター移行に向け、令和6年に子ども家庭支援センターを5か所から3か所へ再編
- 各センターの管轄エリアが広がり、参加人数が増え、例年実施をしていたやり方では対応できなくなった。
- 令和5年度末よりあり方検討会を実施し、全3回行い、地域センター会議の方針を決定
 - 年1回、八王子市全体で実施
 - 市の方針や地域の情報、児童福祉に関する情報を共有する。
 - 実施時期は11月で日程固定していきたい → 11月の第2週の水曜日

(4) 令和7年度実施内容

- 現在、実施に向け調整中
- 令和7年11月12日（水）午後にいちょうホールの大ホールにて実施
- 実施内容については、地域センター会議準備会を実施し、準備を行う。
- 準備会構成員
民生委員・児童委員、八王子児童相談所、八王子市立小学校、中学校
【事務局】 こども家庭センター